

授業科目	保育相談支援（AB クラス）				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH31421J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP3-2 DP5-3			
担当教員	命婦 恭子							
授業概要	幼稚園や保育所・児童福祉施設において、保育者は日々の活動の中で子どもたちへの「発達支援」とともに、家庭が子どもを育む力を発揮できるように「子育て支援」をすることが求められる。そのための方法の一つが相談支援である。ここでは、心理臨床の基本的な考え方を理解し、子どもや保護者を理解し対応する方法、他職種や他機関との連携について学ぶことを目的として授業を展開する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育における相談援助の意義をあげることができる。 2. 子どもたちやその家族の相談を受けるための具体的な方法を実践できる。 3. 相談支援における他機関・他職種との連携について説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	0	50	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			20		20		40	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)			20		30	10	60	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育における相談援助の意義について考え、自分の言葉で説明することができる。 2. 事例ごとに必要な支援を考え、保育現場で実践するイメージを持って説明することができる。 3. 自分の居住地での連携機関についての知識を持っている。 4. 幼稚園・保育所内での連携について具体的なイメージを持って説明できる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育における相談援助の意義を授業内容に沿ってあげることができる。 2. 相談場面に適した言葉遣いや態度をロールプレイ場面で実践できる。 3. 相談支援における他機関・他職種との連携について授業内容に沿って説明できる。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	相談援助の意義 相談援助の意義と基本的な心構えについて解説する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。	15
2	保育相談に必要な態度 受容と共感、傾聴といわれる態度について解説する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。	15
3	心理アセスメント 子どもとその家庭を理解することについて、多面的にアセスメントする必要性に焦点を当てて解説する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。	15
4	保育相談における予防的援助 心身の問題に対する予防という考え方を解説する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。	15
5	予防のための支援方法 1 ストレス・マネジメントの理論について解説する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。	15
6	予防のための支援方法 2 ストレス緩和要因について解説し、その測定方法を体験する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。	15
7	予防のための支援方法 3 リラクゼーション法について体験的に学ぶ。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。	15
8	事例から学ぶ 1 身体発達・言語発達の相談事例から保育者として必要な知識と対応方法について検討する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。 講義中に考えたことを受講生どうしてシェアリングする。	30
9	事例から学ぶ 2 育児ストレスの相談事例から保育者として必要な知識と対応方法について検討する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。 講義中に考えたことを受講生どうしてシェアリングする。	30
10	事例から学ぶ 3 乳幼児の食事と睡眠の相談事例から保育者として必要な知識と対応方法について検討する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。 講義中に考えたことを受講生どうしてシェアリングする。	30
11	事例から学ぶ 4 自閉症スペクトラムやADHDの相談事例から保育者として必要な知識と対応方法について検討する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。 講義中に考えたことを受講生どうしてシェアリングする。	30
12	事例から学ぶ 5 小児心身症や子どもの精神疾患の相談事例から保育者として必要な知識と対応方法について検討する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。 講義中に考えたことを受講生どうしてシェアリングする。	30
13	事例から学ぶ 6 虐待の相談事例から保育者として必要な知識と対応方法について検討する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。 講義中に考えたことを受講生どうしてシェアリングする。	30
14	事例から学ぶ 7 子どもの就学についての相談事例から保育者として必要な知識と対応方法について検討する。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。 講義中に考えたことを受講生どうしてシェアリングする。	30
15	ふりかえりとまとめ 講義全体を通して学んだことをまとめ、保育者として望ましい態度についての理解を深める。	講義	講義内容で不明な点は、参考図書などで確認しておく。 講義中に考えたことを受講生どうしてシェアリングする。	30
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「保育の心理学Ⅰ・Ⅱ」で学んだ子どもの心身の発達と「障がい児保育Ⅰ・Ⅱ」で学んだ障がい児や保護者への支援について復習しておくことが望ましい。			
テキスト	指定しない			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	吉田真理 2011 保育相談支援 青踏社 大島恭二 金子恵美 2011 保育相談支援 建帛社 清水将之 2008 子どもの精神医学ハンドブック 日本評論社 植松紀子 2013 保育者のためのハンドブック SOS に気づく早めの支援 光生館 滝口俊子ら 2012 子育て知恵袋 福村出版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日ごろから相手の視点で話を聞くように心がけると、相談支援に必要なセンスが磨かれます。			
達成度評価に関するコメント	保育現場では、臨機応変に自分で考えて行動することが求められます。授業中も能動的に考えて表現することが求められます。レポートなどの提出物だけではなく、授業への積極的な参加態度をその他(10%)として評価します。			